

経営比較分析表（令和3年度決算）

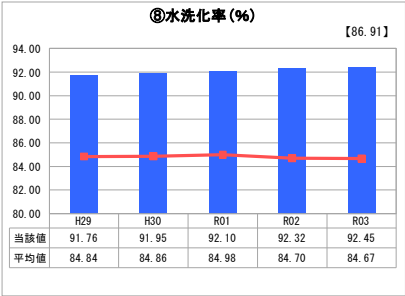
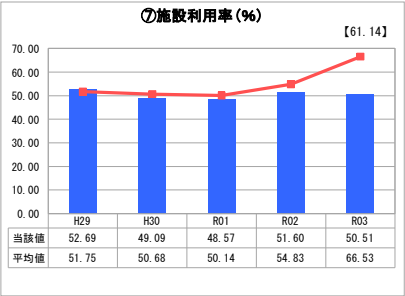
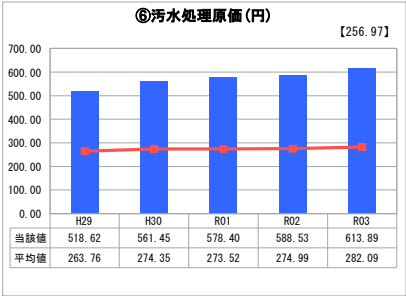
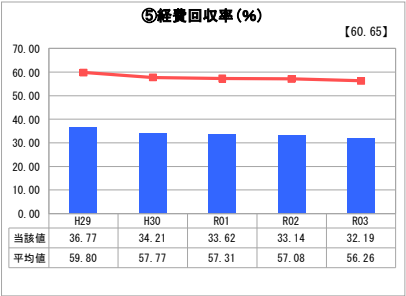
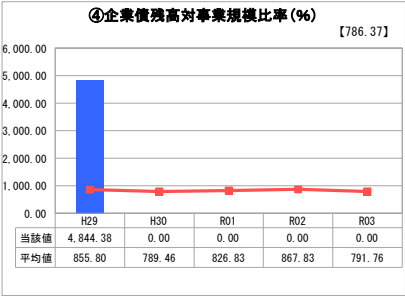
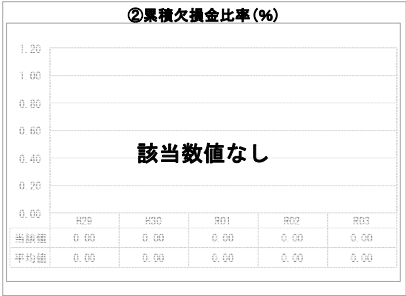
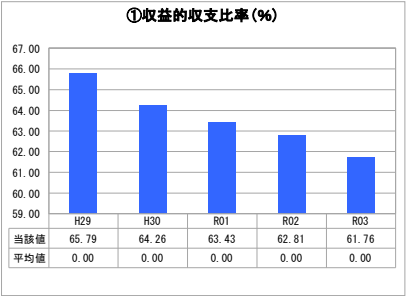
広島県 北広島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	14.65	69.40	3,690

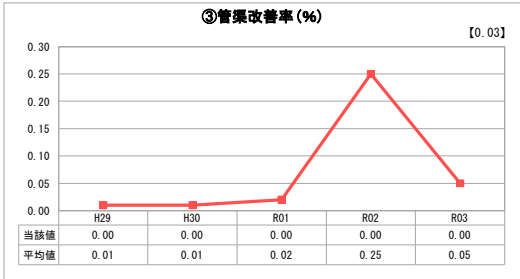
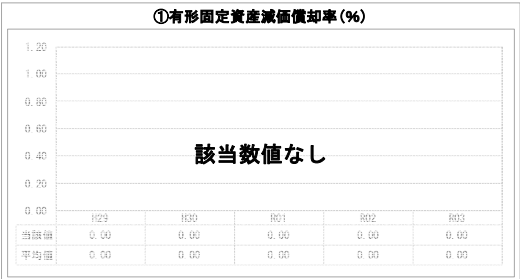
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,797	646.20	27.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,582	0.94	2,746.81

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は100%を大きく下回っており、単年度収支は赤字である。地方債償還金は増加し、総収益・総費用はともに横ばいである。直近5年間で、最低の収支比率61.76%である。今後は単年度収支赤字縮減に向けて更なる経営改善に取り組んでいく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率のH29当該値は4,844.38%となっているが、正しくは0.00%である。地方債現在高は順調に減少している。今年度の当該比率は0%となっているが、これは地方債の償還を一般会計がすべて負担していることが要因である。

⑤経費回収率は100%を大きく下回っており、単独経営が行われている状況とは言えない。また、他会計繰入金の割合が高いため、使用料収入の段階的な見直しや汚水処理に係る経費削減など、安定した経営が継続できるよう取組を進めていく必要がある。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均よりも高い数値で推移し、近年増加傾向にある。他団体と比較すると費用の効率性の面では改善すべき点があると考えられる。経年による施設の老朽化や人口減による有収水量の減少を踏まえ、健全経営を図るための対策を検討していく必要がある。

⑦施設利用率は50%前後をほぼ横ばいに推移しており、人口減による有収水量の減少を踏まえ、施設の最適化を検討する必要がある。

⑧水洗化率は100%に近い数値で推移している。類似団体と比較しても、平均を大きく上回っており、引き続き水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

③現状では、法定耐用年数を超える管路は出していないが、施設の老朽化が進み不明水等の増加に繋がることが懸念される。今後は事業費の平準化に向けた対策も必要となっている。令和6年度より農業集落排水事業の地方公営企業法を適用し、適正な時期に適正な管路更新を実施していく計画的な資産管理を行う必要がある。

全体総括

当町の農業集落排水事業は単年度収支の赤字が続く、経費回収率が極めて低く、汚水処理原価の数値が類似団体平均と比較しても高いことを踏まえ、経営状況は決して健全とは言えない状況である。令和6年度からの法適化を見据え、経営状況や固定資産の把握、施設の整備更新、適切な資金管理などの準備を進め、将来を見越した経営の改善や運営管理に向けた取組が急務である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。